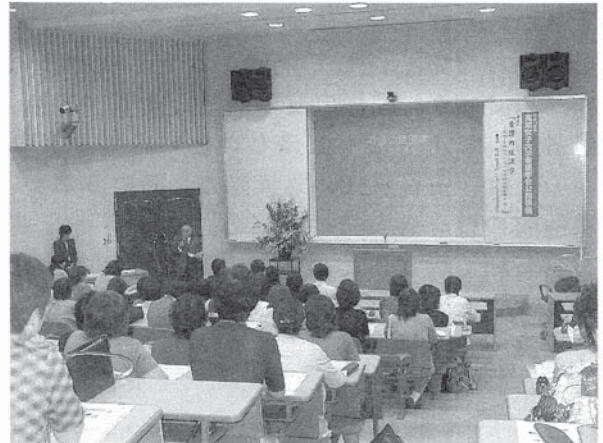


平成14年度高知女子大学看護学会「公開講座」報告

益 守 かづき*

本年度高知女子大学看護学会では、平成15年6月14日に「看護の経済学－医療・看護サービスの経済的評価を考える－」をテーマに、名古屋市立大学看護学部教授である竹谷英子氏をお招きして講演会を開催した。池キャンパスでの初めての開催であることや小雨が降る土曜日の午後であったが、医療・福祉・看護職約130名が竹谷氏の講演を傾聴した。

公開講座は、医療経済に関しても造詣が深い高知女子大学青山英康学長の挨拶より始められた。竹谷氏の講演は、看護サービスとは何か、看護サービスの経済的特性についてという導入から始まった。講演と全体討議で約2時間半という時間であったが、内容盛りだくさんという感想を聴講された方からいただいた。経済という日頃の看護実践の中では身近に感じる事が薄い視点を、看護現場を想定することができるような内容で展開された。聴講者の多くは経済学と看護の接点を理解することができたようであった。米国の医療保険制度についてのビデオを視聴した後、米国のマネジド・ケアから日本はどのようなことを学んでいくべきかなどから、日本の現在の医療保険制度の中での診療報酬について内容が進められた。診療報酬の意味すること、診療報酬の支払い方式など経済的視点を、看護サービスを提供する専門職として身近に捉えていく必要性を強く感じる事ができた講演であった。



高知女子大学 青山英康学長



聴き込んでいる受講生の方々



講演されている竹谷英子氏

*高知女子大学看護学会企画委員